

「でうすれば土砂災害を防げるのか」

三原田小学校 六年 萩原 煌和

「ぼくは、土砂災害がどのよりに起こるのか

どうすれば防げるのかを調べました。

まず土砂災害とはどのようなものなのでし

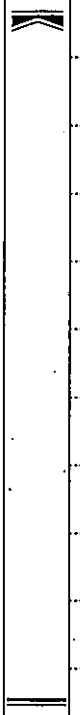
ょうか。土砂災害とは山などでくずれた土砂

が雨水や川の水と混ざって流れてきたりする

ことによつて命がうばわれたり建物をこわす

なごをすゝ災害のことです。土砂災害は、大

きく分けで「土石流」「地すべり」「がけ崩



れ」の三つに分類することかてきます。

例えば、台風の強いときうで大雨が降った

時や、地震の本震や余震などの時も、土砂災

害のリスクも上がります。また、この下うは

出来事が立て続けに起こるとそのリスクも上

がります。また、日本は世界的にも土砂災害

が多い国として挙げられていきます。ほくは、

まさに日本が土砂災害が多いとは思っていな

か、たのておどろきました。なぜ日本が多い

のかといふと日本列島の地形や地質、気象な

どの自然条件に大きな原因があります。日本は山地が多く平地がせまいため山の斜面や谷の出口など土砂災害の起こりやすいところに沢山の人が住んでいるので、予かも土砂災害で大きな被害が出る原因となっています。このように、このことから土砂災害は私たちの生活をびびりかすものたといふことがわかります。

次は、どのようにすれば土砂災害の被害を減らしたり防げたりできるのかです。ぼくは、どのようによければ被害を減らせるか二つ考えました。

一つ目は木や草などの植物を植えることが大切だと思えます。ぼくは、前々授業で木や草を植えるよと木の根が水をたくわえてくれるのだと、土のかわりをといて、土を教わったので、このことを生かせばいいと思えました。

二つ目は、かわるか、流れがすい、土や岩をかたく流れていくもの、変えればいいと思えます。かわるか、いかかる流れ、流れてしまふので、おれ

ばかたくして流れにくものに変えればいいと思
います。そうすれば土砂災害が少しても減
らせるのではないかと思えます。次に、土砂
災害を防ぐ方法が三つあります。
一つ目は、住んでいる場所が土砂災害警
報
区域なのかを確認すること。が大切です。土砂
災害のおそれがある地区は、土砂災害警戒区
域と定められています。なので、それが書い
てあるか確認しましょう。
二つ目は、土砂災害警戒情報などに注意して
ください。雨が降り出したとき、土砂災害警戒
情報に注意しましょう。これは、災害のおそ
れが高まっていることを示しているのです。
つまり確認してください。
三つ目は、警戒レベル四で危険な場所から
全員で避難することです。土砂災害警戒情
報が発表されたら近くの人などに声をかけ
てすみやかに避難すること。が大事です。
このように土砂災害は、三つの方法で被害
を防ぎます。土砂災害は、いろいろ条件が

重なり、起きています。日本はその条件が
多いので多く発生してしまっています。被害を減
らす方法や防ぐ方法があるのて一人一人が
意識して、土砂災害がいつおきても大丈夫な
ように日ごろからの備えが大切だと思います
た